

地域において当院認知症疾患医療センターが果たしている役割

八重樫祐章¹⁾清水みどり¹⁾狩野悠¹⁾神澤孝夫²⁾相澤勝健³⁾美原盤⁴⁾

- 1) 群馬県認知症疾患医療センター美原記念病院
- 2) 認知症疾患医療センター美原記念病院センター長
- 3) 脳血管研究所美原記念病院地域医療連携室長
- 4) 脳血管研究所美原記念病院院長

[はじめに] 認知症疾患医療センター(センター)には、地域住民からの相談受付、適切な診断の実施、身体合併症を有する患者への対応などが求められる。これらの活動は地域の関係機関との連携に基づくものであり、地域により果たすべき役割は様々と思われる。当センターの活動について報告する。

[取り組み] 当センターの主たる役割は、脳神経疾患専門病院としての詳細な認知症診断の実施である。当センター開設後、地域住民を対象に7回の講演会を実施し、開業医等を対象に5回の研修会を実施した。さらに、センターの機能周知のため関係する193の医療介護機関に訪問した。

[結果] 平成28年度、当センターへの受診・診断に関する相談件数は690件(実人数566人)、うち受診に結びついたのは412人であった。うち開業医からの紹介数は210人であった。

[結論] 当センターの役割を明確にしたことにより、センターとして地域に求められる機能が果たされている。